

傾聴態度について

2003 . * * . * *
講師

1 相手を尊重する気持ちをもつこと

2 落ち着いた態度で話を聴くこと

3 あたたかい視線を向けること

4 身体言語（非言語的コミュニケーション）に気を配る

相手の心の中に起きている感情の変化をいっそう深く理解する

人体クイズ

人体図「臓器」を見てください。1～14の番号がついています。それぞれ、下の解答用紙に当てはまります。

臓器の日本語名は左側に書かれていますので、それを自分の通訳言語に訳して、右側に書き込んで下さい。はじめは、自分一人で考えて書いてみましょう。

合図があったら、グループごとに、分からなかったところを教え合ひましょう。

ひととおり終わった頃、正解を書いた表が配られます。グループで、答え合わせをしましょう。

解答用紙

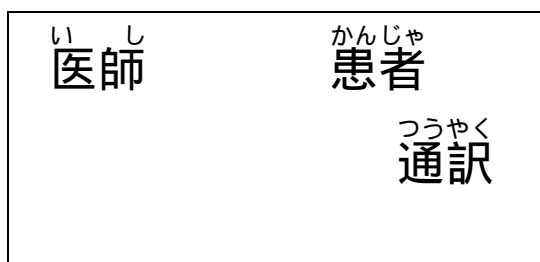
	日本語	()語
1	肺	
2	肝臓	
3	胆嚢	
4	腎臓	
5	十二指腸	
6	大腸	
7	虫垂	
8	食道	
9	心臓	
10	胃	
11	脾臓	
12	膵臓	
13	小腸	
14	直腸	

通訳の位置：理想型・基本型図解資料（医療）

通訳の場の作り方

2003 . * * . * *

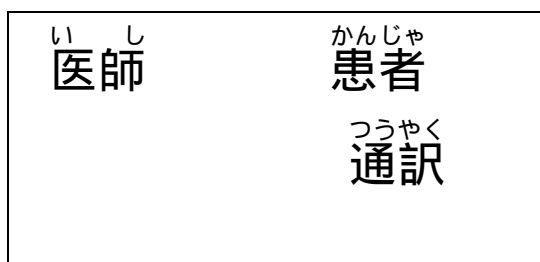
1 通訳の位置：理想型



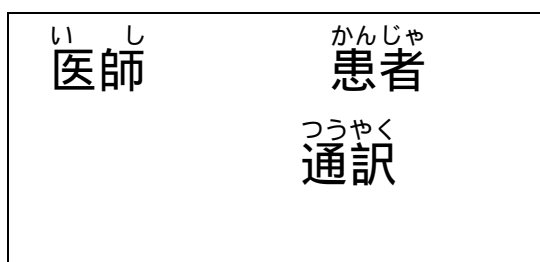
- ・医師と患者が向き合い、会話をする。
- ・通訳は、補助であり、患者の少し後ろ。

2 通訳の位置：基本型

- ・通訳の顔が見えないと不安な様子の患者の場合は、このような配置も考える。



- ・患者と通訳が並ぶ。



- ・患者より少し前に位置し、患者から通訳の顔がより見やすい。

病院側に指定された通訳の椅子の場所が望ましくないときには、
理想の位置に近づけるように、はっきりと主張すること

通訳失敗物語

通訳：はじめまして通訳の　　です。

患者：私は、疲れがずっと続いていて取れないので、今日この病院に診てもらいに来ました。よろしくお願いします。

通訳：そう。痩せてもいないし、あまり病気そうに見えないけど、いったいどんな風に具合が悪いのかしら。

患者：なんといいいますか。その疲れるんです。なんかもう気力がない感じで、いつもおでこのあたりがもやっとしていて。とにかくやる気がでないんです。なんとなく手足がむくむような気もするし・・・、でもいつもむくんでるわけではないんです。どこって痛いところがあるわけでもないし、食欲もそこそこあるんですが気力がないんです。それから、体のエネルギーがなくなっちゃったような感じでいつも寒いんです。

通訳：まあ、なんだかはっきりしない症状ね。診察の時にはもっとはっきり説明して頂戴ね。先生方は忙しいので要点だけをお話するのよ。あなたが一番心配していることをお話してね。

患者：どうも疲れがひどいので注射をしてほしいのです。

通訳：それからあなたのほうから指示を出すようなことはやめたほうが良いわ。

患者：でも母国ではこんなときによく注射をしてくれたので。

通訳：あなた母国ではお医者さんはよく注射をするけど、日本のお医者さんは疲れたぐらいでは注射をしてくれないわよ。日本のやり方にあわせないと。

患者：つかれてつかれてもう眠ってばかりいるんです。もう生きてく気力もないような感じで。

通訳：ダメダメそんな弱気になっちゃだめよ。そんな気持ちだから病気に負けちゃうのよ。

患者：でも、力が入らなくていつもふらふらとしちゃって、このままでは仕事とを首になっちゃいます。いったい私はどうしたら良いのでしょうか。

通訳：そんなこと私に言われても困るわ。もっと気持ちを強く持って自分で頑張らないとだめよ・・・。

この患者さんは甲状腺機能低下症という病気でホルモンが不足してしまい上記のような症状がでているようです。通訳が相談相手になる必要はありませんが、あまり（体の不調も）気持ちの問題のように対応すると次に受診してくれないかもしれませんね。

通訳失敗物語

(下痢をして病院に来たイタリア人の観光客(native speakerではない)との英語の会話通訳はわざと訳を間違えています。)

患者：I have had a stomachache and loose bowels since last night.

(「昨日からお腹が痛くて下痢をしている」)

通訳：昨日の夜から、胃が痛くてお腹の調子が悪いようです。

(stomachを胃だけでなくおなか全体を指すこともあるのに胃と訳してしまった。
loose bowel腸がゆるい=下痢という意味だがはっきり訳していない)

医師：じゃあ、下痢ではないんですね。昨日の夜から頻回にトイレに行っていないですか。

通訳：Do you used the bathroom very often since last night?

(「昨日の夜からbathroom=お手洗いを頻回に使ってますか?」と上品な表現)

患者：No, not very often.

(「いいえ。頻回ではないです。」国によってはbathroom=toiletとは思わない)

通訳：そんなに頻回じゃないようです。

医師：胃の痛みはどのような痛みでしょうか。しくしくした痛みでしょうか。ずきずきした痛みでしょうか。

通訳：しくしく?ずきずき?(一瞬、戸惑った表情をするが思い切ったように訳す。)

What kind of pain do you have?(「どんな痛みですか」)

患者：I have stomach pain, as I told you. I am having severe bowel pains.

Once it starts, I can't stand it. I feel as though I can't even breathe ...

(「ひとたび痛みが始まるととても耐えられず、息もできないほどです。」と訳すべき。)

通訳：とても我慢ができないほどの激しい痛みです。息も苦しいようです。

医師：急に立った時に眩暈がしたり、動悸がしたりしますか。

通訳：Do you feel dizzy or does your heart beat very fast?

(「急に立った時」を落としてしまった)

患者：Yes, when I go to toilet, I have severe pains and feel like I might collapse.

(「おなかが痛くてトイレに行く時失神しそう」と訳すべき)

通訳：はいその通りです。トイレにいくだけで失神しそうになるそうです。

医師：それは大変ですね。黒っぽい便が出ていませんか?

通訳：Don't you have dark color stool?

患者：I didn't look at my stool very well. But I can say that, my stool was a little darker than usual. Oh! The pain is coming, again. What is this sickness?! Tell me how to stop the pain!.

(「よく便を見ていないのですが、いつもより暗い色のような気がします。ああ、また痛み出した。いったい何の病気なんでしょう。どうしたら痛みが止まるんですか!」)

通訳：あの、なんかまた痛んで来てしまったようです。せんせいどうしましょう。（通訳は慌ててしまう）

医師：落ち着いて下さい。それより、先程の答えは何だったのでしょうか

通訳：あ、はい。うんちはやはり黒いそうです。

医師：そ、そうですか。やはり、十二指腸潰瘍で出血をしている可能性が高いですね。

通訳：十二指腸、出血。それって危ないんじゃないでしょうか。（通訳動揺している）

医師：大丈夫です検査をしてしっかり出血しているところを確認すれば止血することができます。いずれにしてもまず、胃カメラの検査をしましょう。

患者：What's happening?（「いったいどうしたんですか」取り残されて不安になる患者）

通訳：Oh. Sorry. Now, doctor told me, that you had better to swallow a camera to see how your stomach looks like...（「ごめんなさいお医者さんは胃がどうなっているか調べるためにカメラを飲んだほうがいいと聞いてます」）

患者：Swallow a camera! That sounds terribly difficult.

（「カメラを飲むだって！そんな大変なこと」）

通訳：It's not difficult. I swallowed a camera before. The camera is small enough. You need to do that, because you have bleeding from your stomach.

（「難しくありませんよ。私だって飲んだことがありますよ。カメラは小さいから大丈夫。胃から出血しているんだから飲まなきゃだめよ。」今度は患者とのやり取りに集中してしまう通訳）

患者：Bleeding in my stomach. Oh! Terrible!（「胃から出血だって！なんてこった。」）

医師：あの、どうしちゃったんですか。大丈夫ですか？（今度は自分が取り残されて不安な医者）

通訳：え、ええ。大丈夫です。先生、訳しますから続けて下さい。

医師：でも大分興奮しているみたいですけど。私の言っていることが本当に伝わっているのでしょうか？

あのね、ストマックの検査をします。ストマック ケンサね。ユーハヴトゥエーとストマックエーとケンサね。わかりました？（通訳に不信が芽生え自分で怪しい英語をしゃべり始める医者）

患者：Stomach cancer?! Do I have two stomach cancer?! Oh! Nooo!

（「胃ガンなんですか？胃ガン！！ああ・・・」あまりの不安にどんどん悪い方向に考えてしまう）

< 出典：(財)横浜市国際交流協会ワールドカップ通訳研修デモ用ロールプレイシナリオ >

通訳失敗物語

(救急病院の急患室。30代の男性が仕事に落ちてきたハンマーで頭を打って運び込まれました。本人は集中治療室に入っており、妻が通訳を介して説明を受けることになりました。)

医師：頭部陥没骨折重症です。手術をして3週間は入院になるでしょう。治療には少なくとも200万円はかかるでしょう。治療費は用意できますか？

通訳：頭の骨がへこんでしまう骨折で重症です。200万円位かかるとのことですよ。

妻：私たちにはそんなお金は有りません。何とかならないのでしょうか。

医師：あなたの旦那さんはビザがないから健康保険に入れません。仕事の怪我は普通は労災保険で払われるのですが、旦那さんの勤めていた会社は労災保険に入っていないのですよ。だから、自分で払うしかないのです。

通訳：あなたは、保険がないので、こんなに高くなるのよ。母国の仲間が金融ビジネスやっているけど、紹介しましょうか？

妻：でも・・・借りたら金利も高かつくし・・・それに私、来月赤ちゃんが生まれる予定なんです。だから仕事もできないし・・・まとまったお金ができません。

医師：困りましたね。手術をしなければ命が危ないし...。誰か保証人になってください。そうだ、あなたと同じ国の人なんですよ。ぜひ保証人になってあげなさい。

通訳：エーッ。私がですか。私は通訳として頼まれてきたのですよ。保証人になるのはちょっと困ります。それに前に通訳した 町に住んでいるあの人は、胃かいようで入院したけど保証人になりませんでしたよ。

妻：あ、それって、マリアさんのこと？そう、マリアさん、胃かいようで入院してたんだ・・・

通訳：あっ、分かっちゃった？ でも黙っていてね。

医師：そうね・・・でも病院だって保証人がいないと治療も何もできないんだよ。じゃあここに保証人の書類を置いておくから。あなたか誰か名前を書いておきなさい。それがいいよ。

(医師は立ち去る)

通訳：困りましたね。誰かあなたの友達とか、近所の人とか頼める人はいませんか？

妻：友達にもお金借りていてこれ以上頼める人はいないんです。お願いします。(深々と頭を下げる) 主人は借金を返す為に無理な仕事をして・・・こんなことになってしまって・・・(うなだれて泣き出す。) 実は、家賃も3ヶ月払ってなくて、大家さんから今日追い出されたんです。(急に顔をあげて) すみません、どうか今晚一晩だけでも泊めて下さい。

通訳：そ、そんな・・・(絶句)。

疲れ切った通訳物語

通訳ボランティアのAさんは、今日も手帳をながめてはため息をついて、ひとりごとをつぶやいています。

「あーあ、きのうの通訳、いまひとつだったな。患者のBさんの症状が、先生にうまく伝わらなかったような気がする。申し訳なかったな。何か気になって、ゆうべも夢に見ちゃって、熟睡できなかったから、今日も体がだるいな。」

そのとき電話が鳴りました。通訳をコーディネートするスタッフからでした。

「いつもお世話になってます。はい。・・・え？明日午後2時から通訳？・・・あの・・・え？もう3人電話かけて断われたから引きうけて下さいって？またCさん？よくあるのよね。」

(以下ひとりつぶやく)

『この間から胃が痛くって、気になってたんだけど忙しくてなかなか病院に行けなかったから、明日は病院に行こうと思っていたのに。・・・検査の予約入れたんだけどな・・・。このごろ疲れやすくて何か体調がすぐれないな。こんなとき通訳に行っていくのかなあ・・・。でも、いつものCさん、わたしのこと頼りにしてるんだよね。病気の様子もよく分かってるし、私の通訳が いいってよく言ってくれるしね・・・ま、いいか・・・』

「もしもし・・・ごめんなさい、お待たせしました。明日、いいですよ。はい2時にいつもの**病院ですね。・・・はい、分かりました。ありがとうございます・・・。」

こうしてAさんは、明日も疲れた体を引きずって、通訳に行こうとしているのでした。

(医療編)**講師・研修企画相談先**

お名前	勤務先・所属	相談分野	備考
五十嵐 善雄	二本松会 上山病院（山形県上山市金谷）	・心理学	精神科医
西上 紀江子	国際ボランティアセンター山形	・医療通訳	中国語通訳
中秋 エルザ	在名古屋ブラジル総領事館ブラジル人民委員会Disque - Saude電話相談プログラム相談員	・医療通訳 ・医療相談	医師
大桑 美也子	（財）京都市国際協会 企画事業係主任	・医療通訳事業の企画・実施に関すること	京都で実施している2003年度「医療通訳システムモデル事業」について照会対応可
沢田 貴志	NPO法人「シェア」副代表、港町診療所	・医療通訳の役割 ・外国籍住民の健康問題と医療制度	医師 国際保健
NPO法人 多言語社会リソース かながわ	理事、事務局長 プログラムアドバイザー、コーディネーター等に相談可能	・医療通訳 ・外国籍住民の課題全般 ・翻訳 ・研修プログラム開発	医療通訳 医師、MSW、研修プログラム開発等
（財）三重県国際交流財団			
（財）宮城県国際交流協会			

参考文献・サイト

通訳ボランティアとしての研修には、受講内容を元に、自己学習及び、言語別グループ学習を行い、通訳としての力量をより高めていくことが欠かせません。その際に、学習の助けになるように、そして情報収集の手がかりになるように、参考文献・サイトを紹介します。

【医療会話集・医療用語集】

『外国人と日本人医師の臨床会話集』（全10巻）

英語編(第1巻)、ドイツ語編(第2巻)、フランス語編(第3巻)、ポルトガル語編(第4巻)、
スペイン語編(第5巻)、中国語編(第6巻)、韓国語編(第7巻)、フィリピン語編(第8巻)、
タイ語編(第9巻)、ペルシャ語編(第10巻)

著者：大西守、増茂尚志 発行所：株式会社 三修社 1992年12月10日発行

<http://www.sanshusha.co.jp/>

実際の医療現場での実用性を第一と考えた会話集のほか、外国人患者の問題は経済的問題や健康保険、ビザなど身分保障の問題など言葉の問題に限らないため、各種必要書類の翻訳、関係する公的機関(大使館等)や相談窓口などのリストを付随している。

『病院で困らないための中国語』

編著：王燕玲、松本洋子 発行所：サンセール株式会社

病院で用いる会話編(日中対訳)と用語編(日中英、中日英対照)で構成。会話編は総合案内、受付からはじまって、各診療科、検査、入院などの場面を日常会話に近い会話集で網羅している。用語編は、基本単語からインフォームド・コンセント、ターミナルケア、ホスピスなどの最新用語も含めて収録。中国語対訳の人体各部の図版も収録。

『S.O.S.ポルトガル語医療会話』

著者：殿村エルダ 発行：大学書林 平成3年8月30日第1版発行

患者の症状をできる限り正確に伝え医者が患者を的確に診断できるように、症例が科目ごとに細かく挙げられている。又、医者からの質問に関しても細かく、説明と指示を理解するのに役立つ。

『病院のなかの英会話』

著者：庄司道子、北原光夫、Jeffrey Herrick 発行：医学書院

日常的で平易な会話例を主に収録。英語圏外の英語が上手く話せない外国人の方に対して、簡単明解な表現方法で説明するのに役立つ。

『英語救急箱』

著者：池田和子 発行：南雲堂フェニックス 1995年11月5日初版第1刷発行

さまざまな場面で必要とされる994の例文を和英対訳の形で掲載。巻末の医療用語集は、日本語と英語の両方から引けるようになっている。

『Speaking Medical English』

著者：Carl J.Pfeiffer、永井利博 発行：医学書院 1982年9月1日第1版発行

医療現場での通訳は、一般的英会話能力とともに、専門用語を正しく発音できることが不可欠であり、このような状況を踏まえて、収録されている医学用語については基本的な単語、間違いやすい単語という基準で選んである。同時に、附属のテープを反覆して聞くことで正しい発音を身に付けることができる。

『医学英語の基礎知識』

著者：A.R.ハットン 監訳：菅原勇 発行：西村書店 1995年7月20日発行

医学用語の知識がほとんどない人向けの手引書。かなり専門的な内容になっている。扱われている医療用語は、器官別に配列してある。段階別に各演習をやり、それを復習し、さらに新しい用語を検索できるかたちになっている。

『MEDICAL ENGLISH FOR EVERYONE - 病の英語と決まり文句 - 』

著者：秋山登志之 発行：南雲堂 1992年1月20日初版第1刷発行

各診療科別の、病の英語と決まり文句を収録。英単語の横に発音をカタカナで表記してある。

『9ヶ国語対応服薬指導の本』

発行：AMDA国際医療情報センター 電話03-5285-8086 1994年6月1日発行

英語、スペイン語、ポルトガル語、ペルシャ語、中国語、韓国語、タイ語、フィリピン語、ベトナム語対応の服薬指導書。患者の症状、病歴、アレルギーの有無などの説明の仕方や、処方された薬がどのような薬なのか、また具体的な服用・使用方法や副作用などを説明するのに役立つ。

『どうされましたか？7ヶ国語対応問診ハンドブック』

編集：財団法人日本総合研究所 発行：日総研出版 平成8年12月11日第1版発行

英語、中国語、韓国語、フィリピン語、ドイツ語、ポルトガル語、フランス語対応。身元確認、アレルギー、病歴、感染症、意識障害、頭痛、けいれん、感冒様症状、喘息、胸痛、動悸・不整脈、吐血、腹痛、血便・下血、外傷、泌尿器疾患、性器出血、自殺未遂、検査、服薬方法、使用頻度の高い20項目についての問診シナリオを用い、患者さんへの質問と予想される答えを各語ごとに記載。

『7ヶ国語対応外国人患者のための入院ガイド』

編集・発行：AMDA国際医療情報センター 電話03-5285-8086 2001年9月4日第二刷発行

入院から退院までを想定して、医療機関でのルールや病棟でのルールを、英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語の7言語で説明。各国語「患者用」「病棟用」「各種書類」の3つのパートで構成。

『すぐ使えるナースのための英会話1000』

編集：ナースの外国語研究会 発行：桐書房 1992年8月10日

『すぐ使えるナースのための韓国語会話1000』

編集：ナースの外国語研究会 発行：桐書房発行 1992年10月10日

『すぐ使えるナースのための中国語会話1000』

編集：ナースの外国語研究会 発行：桐書房 1992年11月10日

会話形式で日本語と外国語が対面で記載。外国語のほうにはカタカナ読みまでついている。テープ有。

『病気のときのスペイン語会話』

発行：学生社 電話03 - 3857 - 3031 ファックス 03 - 3857 - 3037
大島 洋子、肥田 章子著

『15カ国語診療対訳表医学書院』

TILL (栃木インターナショナルライフライン) 編
電話03 - 3817 - 5659

『和英西仏医学看護用語集』

財団法人国際看護交流協会 電話03-3264-6667
ホームページにファックス用注文フォームあり。メールでも注文可。

<http://webclub.kcom.ne.jp/mc/infj>

メヂカルフレンド社ファックス03-3261-6602でも注文可。

『10ヶ国語による病院パスポート』

監修：高久史磨 発行：信山社出版 電話 03 - 3818 - 1019

【医学辞典】

『暮らしの医学用語辞典』(日/ポ)

著者：中萩エルザ 発行：多文化共生センターひょうご 電話078-453-7440

『和英 医学用語辞典』(全3巻)

監修：大島正光 編集代表：開原成允 出版：日外アソシエーツ

国内外63種の辞典・用語集から医学文献等で使われている医学専門用語を収集し、さらに最近使われるようになった用語、学会選定用語、SNOMED・ICDコードなど、約26万語を収録。

『英和 医学用語辞典』(全3巻)

監修：大島正光 編集代表：開原成允 出版：日外アソシエーツ

上記『和英医学用語辞典』の英和版。医学・医療・薬学・薬品関係の専門用語、約22万語を収録。

『医学用例大辞典』

著者：野田四郎 発行：朝日出版社 1989年10月10日初版第1刷発行

一般の独和辞典の中では全然見当たらない医学分野における動詞の特殊な意味と用例に着目した動詞、形容詞を中心とした独英和の形の辞書。

『インタープレス版 バイオ&メディカル大辞典』(英和編・和英編)

企画：藤岡啓介 編集：アイピーシー編集部 1990年4月15日新装版第二刷発行

医学一般用語92,537語を中心に、歯学801語、心理学6,532語など、142,651語を収録。

【診察補助表】

『11ヶ国語診察補助表』

発行・編集：AMDA国際医療情報センター 1992年6月発行

「受付・窓口用」「患者から医者へ」「医師から患者へ」「薬の飲み方、使い方」の各場目にお

ける主要な質問と予想される返答や、また患者へ指示する文章を日本語と各国語で表記してある診察補助表。韓国語、中国語、フィリピン語（タガログ語）、ベトナム語、カンボジア語、ラオス語、タイ語、ペルシャ語（イラン語）、英語、スペイン語、ポルトガル語対応。

『16ヶ国語対応歯科診察補助表』

発行：AMDA国際医療情報センター

英語、スペイン語、ポルトガル語、中国語、韓国語、ペルシャ語、タイ語、ラオス語、カンボジア語、ベトナム語、ベンガル語、フィリピン語、ロシア語、フランス語、インドネシア語、マレー語対応。「受付用」「患者から医師へ」「医師から患者へ」「診察時」「治療後の注意事項」の5つのパートで構成。

『外国語医科診療マニュアル・外国語歯科診療マニュアル』

発行：神奈川県県民部国際課 2001年10月改訂

総合(受付・会計・薬局)と、内科、外科・整形外科、外科・胃腸科、小児科、産婦人科、耳鼻科、眼科、皮膚科、泌尿器科、歯科の各科における診療マニュアル。英語、中国語、ハンゲル、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、カンボジア語、タイ語、タガログ語併記。

【医療制度について】

『ことばと医療』

発行：MICかながわ（特定非営利法人多言語社会リソースかながわ）

多言語医療支援の背景に始まり、外国籍住民、医療従事者の意見、医療通訳の有用性が挙げられている。医療通訳派遣に関する全国の取り組み状況も分かるようになっている。通訳スタッフが、現場の声を寄せているので、通訳業務の実際を理解するのに役に立つ。

『日中医学』

(財)日中医学協会機関紙 電話03-3291-9161 fax03-3291-9146

知識（中国の医療の現状に関する）や用語の解説も載っています。

『在日外国人の母子保健 - 日本の世界の母と子』

著者：李節子 発行：医学書院

『医師・医療関係者のための 外国人患者診療ガイドブック』

著者：小林 米幸 発行所：株式会社 ミクス 1993年3月10日発行

医療機関側のための外国人診療についての本ではあるが、外国人の在留資格について、外国人・医療機関双方からみた医療に関する問題から、外国人にも適用される日本の医療・福祉制度など、通訳をする上で事前に知っておきたいことが書かれている。訳語付きの会話集などは掲載されてい

ないが、外来現場や医療現場での対応についての対応法やその注意点が書かれているので、

この場面では特に何について通訳しておく必要があるのかを知るのに参考になる。各種相談・連絡先など資料も収録。

『6ヶ国語対応 日本の医療・福祉制度ガイド』

著者：小林米幸 発行：中山書店 1993年1月29日発行

中国語、英語、韓国語、ポルトガル語、スペイン語対応。日本の医療システムと、外国人にも利用できる国民健康保険、社会保険などの医療制度、労災保険や生活保護など福祉制度についての解説。

『Japan Health Handbook』

著者：Meredith Enman Maruyama , Louise Picon Shimizu , Nancy Smith Tsurumaki

英語版。日本の医療システムに関する解説。医療保険について・日本での出産・日本の薬・子供の病気などについて16章構成。章ごとに全国の主要な病院、英語の通じる病院、相談先のリストなどがあり。

『GETTING SICK IN JAPAN 』

- UNDERSTANDING THE JAPANESE HEALTH CARE SYSTEM - 』

著者：田中諭、曾根智史 発行：高分子刊行会 1996年12月23日第2版第2刷発行

英語版。日本の医療システムに関して英語で解説したもの。開業医・病院で・患者の権利・薬局で・日本におけるタバコとお酒の消費などについて12章構成。

『日本の医療がわかる本』

著者：吉野晶雄 発行：日本医療企画 平成2年4月20日第二刷発行

特に外国人医療については触れていないが、外国人医療の根底となる日本の医療制度についてわかりやすく解説している。

【その他】

『外国語 / 日本語併記母子健康手帳』

母子保健事業団 電話03-3499-3120「母子健康手帳」の記録ページを2か国語で併記。英語・ハンゲル語・中国語・タイ語・タガログ語・ポルトガル語・インドネシア語
スペイン語

『日本の母子保健・医療を知るためのリーフレット』

発行：AMDA国際医療情報センター 電話03-5285-8086

英語・中国語・ハンゲルで記載されたリーフレット。

『妊娠から育児まで 安心して日本で出産するために』

発行：AMDA国際医療情報センター 2000年3月7日 電話03-5285-8086

英語、中国語、韓国語、タイ語、スペイン語、ベトナム語、ポルトガル語の7か国語でビデオ、テキスト各7つ有。

【参考サイト】

参考サイトの紹介文の中では、本研修に関連する、または通訳ボランティア業務に関係すると思われる事項のみ、一部抜粋しているもので、詳しくは、まずは該当ホームページを開いてみて下さい。また、随時更新され、紹介文と若干異なる可能性がありますので、ご了承下さい。

日本語以外の言語で書かれているものもあり、自分の通訳言語に相当するものがあれば、用語や文章表現の学習に活用することもできます。

(財)自治体国際化協会のホームページ 「多言語生活情報」

<http://www.clair.or.jp/tagengo>

日本語を含む13ヶ国語による情報の提供。一般編、医療編、住宅編、相談窓口編に分かれている。

一般編・・・在留資格、外国人登録等各種届け出の方法。医療、福祉、労働、教育等についての解説されている。

医療編・・・本研修の「医療知識」「医療制度」の学習内容に関連している。

国際ボランティアセンター山形 (電話 023-634-9830)

<http://www.dewa.or.jp/IVYama/>

サイトマップを開くと、ホームページの内容が一覧表になっている。国際ボランティアセンター山形の活動内容、具体的事例について知ることができる。

(財)神奈川県国際交流協会のホームページ

<http://www.k-i-a.or.jp/medical>

「多言語医療情報」の中の「多言語問診票」に、言語別各診療科の問診票が掲載されている。「診療場面でよく交わされる会話」や「よく使われる用語」の自己学習に活用もできる。

(財)横浜市国際交流協会のホームページ

<http://www.yoke.city.yokohama.jp/>

国際交流、協力、イベント、グループの紹介

ボランティア日本語教室マップ

ボランティアグループリンク集の団体一覧表は、各団体について、検索するときに便利。

(財)京都市国際交流協会のホームページ

<http://www.kcif.or.jp>

日本語を含む13ヶ国語による情報の提供。「京都べんり情報」を開くと、以下の情報が掲載されている。

「健康に暮らす」の中の「病気、健康について」「メディカルハンドブック」

・・・本研修の「医療知識」「医療制度」の学習に役立つ。

「快適に暮らす」・・・在留資格、役所への届け出、法律上の手続き等について解説されている。

「文化的に暮らす」・・・子育て、教育、就職についての情報が掲載されている。

医療通訳研究会

<http://www.infoseek.livedoor.com/~medint/>

医療通訳の体験を共有し、情報交換の場をつくるために発足された研究会。医療従事者・通訳・患者・研究者など様々な角度から、日本におけるよりよい外国人医療体制を議論していく目的で、セミナーも行われている。外国人医療に取り組む団体のリンク集も掲載されている。

A M D A 国際医療情報センター

<http://homepage3.nifty.com/amdack/>

外国籍住民に母国語による医療情報を電話で提供すること、外国人患者受け入れに悩む日本の医療機関に外国人の医療に関する情報を提供すること等を主な目的として設立された団体。

母国語通訳付きの両親学級の開催、母子保健ガイド（ビデオ、冊子：上記参考文献参照）の販売等各種活動を紹介している。

「お役立ちページ」として、診察申込書、医療費明細書・領収書、薬剤明細書・領収書、子どもの予防接種、結核ガイド、国民健康保険について、健康保険（社会保険）について、薬代について等の文書（説明文あるいは書式例）も掲載され、それぞれ日本語、英語、ポルトガル語、スペイン語、中国語がありPDF文書となっていて、WEB上で利用できる。

大阪府医療機関情報システム

<http://www.mfis.pref.osaka.jp/qq27scripts/qq/qq27.asp>

このシステムは大阪府内の病院・診療所（以下、「医療機関」という。）に関する情報を、インターネットを通じて提供するシステム。医療機関の所在地、診療科目等から、希望する条件にあった医療機関を探すのに役立つ。